

中野区画街路第4号線 都市計画道路事業の 取り組み状況についてお知らせします

平素より中野区のまちづくり行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。本かわら版では、現在検討を進めている「都市計画道路中野区画街路第4号線の道路構造」について、計画の取り組み状況をお知らせいたします。

本路線の道路構造を決めていくまでの流れ

道路構造の計画にあたっては、道路の特性と地域の実情・ニーズを考慮し、本路線が重視すべき機能を明確にした上で、地域に適した道路構造としていきます。

道路の特性

- ・沿道に**商店街が形成**されている
- ・**本路線を利用する歩行者は**、市街地における一般都道府県の歩行者交通量に比べて**多い**
- ・区域外からの通過交通の進入を誘導しない路線に位置づけられており、**自動車の交通機能の重要性は小さい**

地域の実情・ニーズ

- ・**商店街を分断せず、にぎわいを喪失しない道路構造**
- ・**人が最優先のみち**
- ・**適切な自転車利用環境**

本路線が重視すべき機能

道路の機能には以下の3つがあります。そのうち本路線については『歩行者・自転車の交通機能』と『市街地形成や防災の空間機能』を重視すべきと考えられます。

道路の機能と本路線に対する考え方

自動車の交通機能

- ・商店街を利用する方が、並んで歩くことができる
- ・高齢者の方、障がいのある方、ベビーカーを利用される方等、誰もが歩きやすい

歩行者・自転車の交通機能

- ・歩行者、自転車、自動車が適切に分離されている
- ・買い物などの短時間利用に合わせた駐輪ができる

市街地形成や防災の空間機能

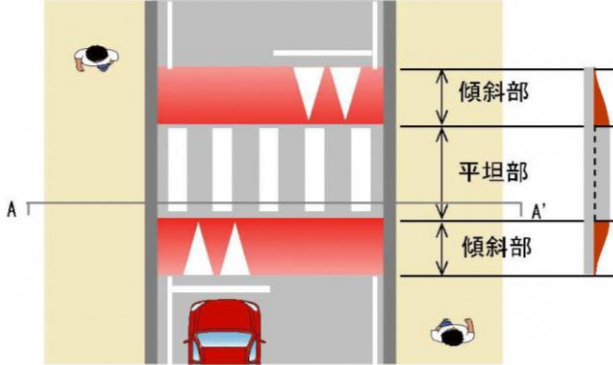
- ・災害時において、緊急車両が円滑に通行できる
- ・火災の延焼が防止できる

裏面では、現在検討している主な道路施設を紹介します ⇒



スムーズ横断歩道

車道を盛り上げ、歩道と横断歩道の段差をなくすことで歩きやすくなります。また、車の運転手に注意を促すことができます。



↑ 出典：通学路・生活道路の安全確保に向けた道路管理者による対策実施事例（国土交通省道路局）

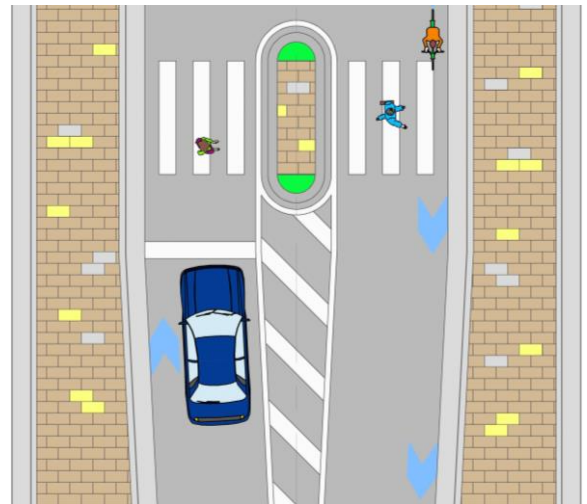


↑ イメージ写真（出典：改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル（広島市事例））

二段階横断施設（交通島）

車道中央に二段階横断施設（交通島）を設置することで、左右の交通を、片側ずつ確認して横断することができます。

さらに、車道の横断を二段階に分けるため、1回の横断距離が短くなり、横断歩行者の安全性が向上するとともに、自動車の停車を促す効果も期待できます。全ての歩行者にやさしい交通環境ができます。



↑ 二段階横断施設（交通島）設置イメージ図

歩道の連続化

本路線と接続する生活道路等との交差部を歩道化することで、段差のない連続した歩行空間ができます。



出典：東京都長期ビジョン～「世界一の都市・東京」の実現を目指して～（東京都）

路上駐輪場

自転車の通行空間を分離するとともに、主に商店街利用者を対象として、小規模な駐輪場を分散して配置することにより、適切な自転車利用環境ができます。



出典：路上自転車・自動二輪車等駐車場設置指針同解説（(社)日本道路協会）

その他の必要な施設と、それらの規模や配置等についても現在検討を進めています。

【お問い合わせ先】 中野区 地域まちづくり推進部 北東部まちづくり分野
住所：〒164-8501 中野区中野四丁目8番1号 TEL：03-3228-5487（直通）